

概要

会社名 東英工業株式会社  
 所在地 東京都町田市忠生1丁目8番地13  
 電話 042(791)1211(代表)  
 FAX 042(792)0490  
 設立年月日 1949年9月1日  
 資本金 2,000万円(1996年3月末日現在振込済)  
 決算期 年1回(3月)  
 事業内容 計測機器、電気機器、通信機器、理化学機器及びこれに付随する機械器具の製造及び販売。  
 役員 代表取締役社長 鴨池 勝明  
 取締役 武藤 武弘  
 取締役 有泉 豊徳  
 監査役 正野 守  
 従業員 40名  
 主取引銀行 三菱UFJ銀行 町田駅前支店  
 横浜銀行 町田支店  
 商工組合中央金庫 八王子支店  
 日本政策金融公庫 立川支店

沿革

1949年 9月 電気計測試験用機器の考案、試作開発を目的に工業技術院電気試験所の出身者により東京都千代田区内に「日東精機株式会社」として設立。  
 1954年 9月 本格的生産設備増強のため東京都世田谷区内に工場を建設し操業する。これを契機とし社名を現在の「東英工業株式会社」に改称。  
 1959年 3月 自記磁束計の開発試作機が完成し、ソフト材の環状試料による磁化特性の連続曲線が測定可能となる。国産初の第1号機。  
 1965年 8月 交流励磁の回転減衰磁界式の消磁方法が特許となり、同特許を用いた磁気テープ用脱磁装置の引合い受注が活発化。  
 1970年 1月 振動試料型磁力計の開発試作に成功する。日本大学生産工学部殿に納入され、国産販売品の第1号機となる。  
 1973年 5月 単板磁気測定装置のシステム化が完成し、従来よりのエプスタイン試験法に相違して一枚試料による試験法を可能にする。第1号機。  
 1983年 5月 '74年の第2次オイルショックの後の景気拡大に伴い、'78年頃からの業績向上を背景に生産規模拡大を計るため、現在地に本社工場を建設移転し操業を開始。  
 1988年 4月 東北大学の技術的支援と東京都の技術改善費補助金の助成を得て、パルス磁化測定装置の開発に成功し、試作第1号機が完成。  
 2009年11月 走査型マイクロホールプローブ顕微鏡装置を開発。

主な納入先 (五十音順・敬称略)

- 官公庁
  - 独立行政法人 国立印刷局
  - 独立行政法人 産業技術総合研究所
  - 独立行政法人 物質・材料研究機構
  - 東京都立工業技術センター
- 学校
  - 大阪大学
  - 九州大学
  - 京都大学
  - 慶応大学
  - 埼玉大学
  - 信州大学
  - 筑波大学
  - 東京大学
  - 東京工業大学
  - 東北大学
  - 名古屋大学
  - 日本大学
  - 明治大学
  - 横浜国立大学
- 会社
 

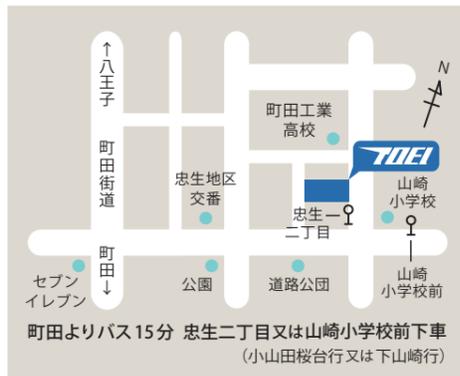
愛知製鋼株式会社	TDK 株式会社
旭化成工業株式会社	株式会社 東芝
TOWALレーザーフロント株式会社	戸田工業株式会社
京セラ株式会社	トヨタ自動車株式会社
マンローランドゴスウェプ	株式会社NEOMAX近畿
システムズジャパン株式会社	パナソニック株式会社
コニカミノルタ株式会社	日産自動車株式会社
JFEスチール株式会社	日立金属株式会社
昭和電工株式会社	富士通株式会社
信越化学工業株式会社	富士フイルム株式会社
日本製鉄株式会社	ファナック株式会社
セイコーエプソン株式会社	株式会社 本田技術研究所
ソニー株式会社	ヤマハ株式会社
チタン工業株式会社	株式会社 リコー

(他多数)

会社案内  
Company Profile



常に創造を目指して進む



〒194-0035 東京都町田市忠生1丁目8番地13  
 TEL 042-791-1211(代表)  
 FAX 042-792-0490  
<http://www.toeikogyo.co.jp/>

多様化する時代のニーズに応え、科学技術・産業の発展に貢献

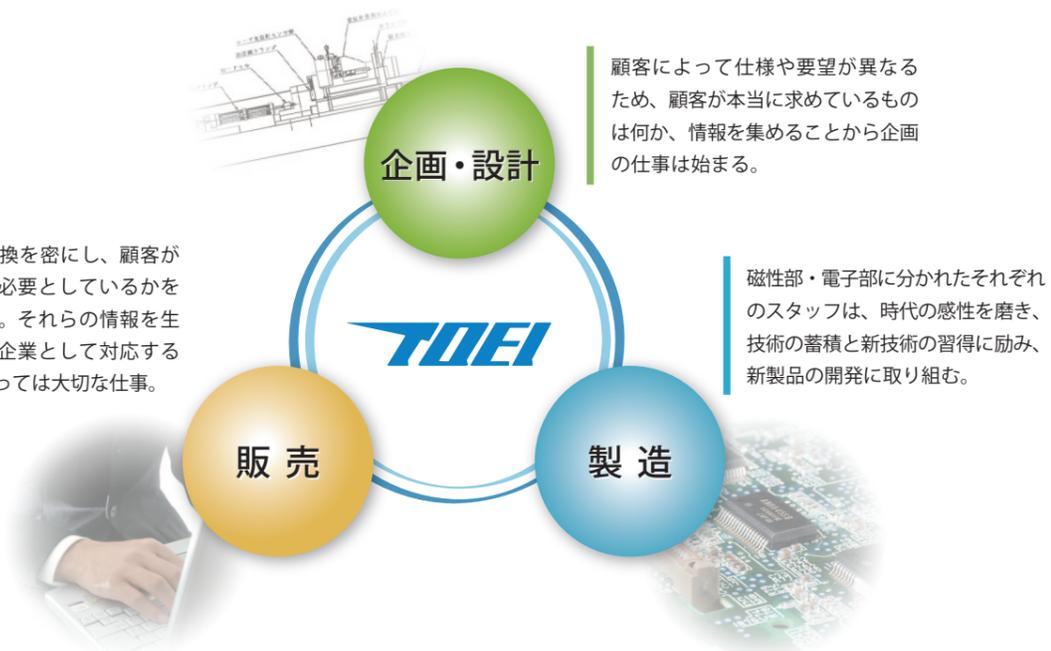
技術革新が進むにつれ、あらゆる分野におけるニーズの多様化、専門分化が急速に進んでいます。東英工業は、このような時代の到来を予測し、電気計測機器の試作、開発を目標に、通産省電気試験所の出身者によって昭和24年に設立されました。以来、政府機関の研究設備をはじめ、大手民間企業や大学の研究室などの依頼により、磁気測定装置、応用計測装置などを次々に開発、実用化し、年々多様化する社会のニーズに応じてきました。同時に、科学技術の進歩に伴う自動化、省力化を追求した産業用機器分野にも進出、今日の発展をみるに至りました。東英工業は、創業以来培ってきた計測、制御のノウハウ、技術開発力をベースにエレクトロニクスと、コンピュータ応用の技術を活かし、皆さまのご要望に沿った信頼に応える装置の開発・製造を中心に、



製品とサービスを提供し、社会への貢献を願っています。今後も「自己革新と創造による未来の開拓」をモットーに、皆さまとの友好、協力を得ながら、さらに前進を続けてまいります。

新製品開発に向け、倦むことを知らぬ“技術集団”

東英工業の“物づくり”の特徴は、グループによる一貫生産システムです。製品開発のための情報収集に始まり、仕様の決定から製造、調整に至るまでの独自の生産システムは、お客さまの要望をよりきめ細かく製品に反映させると同時に、より高品質の製品をつくり続けるための生産システムです。



新技術へのチャレンジ精神が生んだ製品のかずかず



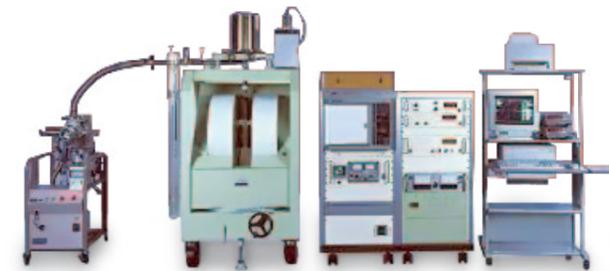
パルス磁化測定装置 (TPM型)

高性能永久磁石の磁気特性をコンデンサーと特殊巻線による励磁コイルを用いて、半値巾13msec、発生磁界15Tのパルス高磁界中で測定するための装置です。



自記磁束計 (TRF型)

M積分閉磁路方式の磁束計で、軟磁性材から高性能永久磁石まで広範囲な磁性材料の直流磁化特性が測定できる装置です。



振動試料型磁力計 (VSM型)

試料を磁界中で振動させ、磁気記録材料をはじめとする微小な磁性材料の直流磁化特性を高感度精密に測定し、磁気特性の基礎的定数の多くが求められる装置です。



高温超電導型 振動試料型磁力計 (VSM-5HSC)

高温超電導マグネットをVSMに採用した高速測定が可能なタイプのVSMです。0.5mm cube 磁石のBr,HcJ 高精度測定が可能です。

取り扱い生産品目

品 種	取り扱い生産のModel及び機種名
直流磁気特性測定用機器	TRF型自記磁束計・TDF型デジタル磁束計・VSM型振動試料型磁力計・TPM型パルス磁化測定装置など
磁気応用及び関連機器	TDM型磁気テープ用脱磁装置・TAS型磁界中回転熱処理装置・EMF型ヘルムホルツコイルなど
交流磁気特性測定用機器	ESS型自動化交流磁気測定装置・TRS型交流磁歪試験装置・DFM型デジタルファンクションメータなど
特殊計測試験用機器	TPBF型プラズマボタン溶解炉・UDS型ドラムスキャナー装置など
直流及び交流安定化電源	THS型磁界発生装置用電源・TSS型直流磁気測定用バイポーラ電源・各種レーザー発振器用電源・各種発光灯励起用高圧電源など
システム制御用機器	レーザー加工機用制御装置・工作機械用制御装置・印刷機械用制御装置など
自動化・省力化用機器	TRA型自動ラベル貼付装置・TSD型表面欠陥連続検査装置など
特 注 製 品	OEM 製品・各種電源・各種測定器およびコントローラ